

令和5年3月31日


 イ・デワ・プトゥ・セナ
 《インコとコーヒーの木》1985年

 イ・デワ・プトゥ・モコ
 《ワニと友だち》1992年

令和5年度 コレクション展
神々の島から
 —インドネシア・バリ島の美術
 令和5年3月23日(木)～6月20日(火)

イスラム教が多数派を占めるインドネシアにあって、バリ島は、ヒンドゥー教と土着の信仰が混ざりあった、独自のバリ・ヒンドゥー文化が育まれており、「神々の島」と呼ばれてきました

本展では、伝統的なカマサン様式の絵画から、近代化の過程で生み出されたバリ絵画まで、バリの豊かな精神世界や日常を映し出す作品をご紹介します。つきましては、広報のご協力をよろしくお願いいたします。

同時開催のコレクション展

①あじびレジデンスの部屋 第1期

記憶のなかの歴史—スティー・クナウィチャヤノン

スティー・クナウィチャヤノン(タイ)は、「第2回福岡トリエンナーレ」(2002年)開催時に、当館に滞在し、《歴史の授業(福岡)》を制作しました。これは、人々の福岡大空襲の記憶をイメージし、それを机に彫り込んだ作品です。この作品を中心に、彼の他の作品とともに展示します。


 ①《歴史の授業(福岡)》
 ワークショップ風景(2002年)

②私から問う—アジアの現代写真

1980年代以降、アジアでは写真作品が数多く制作されました。本展では、アーティスト自身の姿が写し出された写真を集めます。


 ②ツェン・クオンチ(曾広智)
 《遠征する自画像シリーズ:
 ニューヨーク(自由の女神)》1979年

 ③タン・チンクアン(陳振権)
 《青い夜11—悲劇的2》1989年

③境界を行き交う—アジアのインスタレーション

アジアのなかでも先駆的なインスタレーション作品を制作したタン・チンクアンの初期作品を紹介します。

【会 期】令和5年3月23日(木)～6月20日(火)

休館日:水曜日(5月3日祝日は開館、5月8日(月)を休館)

【観覧時間】午前9時30分～午後6時

(金・土曜は午後8時まで。入室は閉室30分前まで)

【会 場】福岡アジア美術館 アジアギャラリー

【観 覧 料】一般200円/高大生150円/中学生以下無料

【主 催】福岡アジア美術館

〈問い合わせ先〉

Tel: 092-263-1100

Fax: 092-263-1105

学芸課/栗原(くわばら)

ラワンチャイクン、山口